

Weekly コラム

令和元年 10 月 8 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

助け合いの証

「幸せの青い鳥」「コウノトリが赤ちゃんを運んで来る」など、私たち人間にはない翼で羽ばたくことのできる鳥にはしばしば縁起の良いジンクスが存在します。誰かのために少しでも何かの助けになれば…と共同募金をした際にその証として色付きの羽根が貰えるのもそんな鳥の持つプラスのイメージからでしょうか。募金シーズンを迎えると学校や駅前で募金活動が行われたり、あるいはアナウンサーや国会議員が胸元に羽根を着けているのを見かける方も多いと思います。赤や緑は一般的に広く知られていると思いますが、後述しますように実は現在用途によって 5 色の羽根があります。

共同募金の歴史は終戦直後の 1947 年に赤い羽根からスタートしました。多くの国民が食糧難や住宅難に苦しんでいた頃に、アメリカで行われていた共同募金を日本でも取り入れられたのが始まりです。記念すべき第一回目に集まった募金額は約 6 億円、現在の価値に換算すると 1200 億円に相当するといわれています、その後戦後復興が進み、時代の風潮によって活用幅も広がり、羽根の色によって募金先がわかるようになりました。

「赤」: 市民の行動を応援するいわば一般的な共同募金(子ども、高齢者、障害者への支援・福祉活動・災害支援)「緑」: 緑化活動、植樹祭「黄色」: 臓器移植支援、犯罪非行防止「青」: 水難救助「水色」: 水難遺児の援助、海岸の環境美化となっています。

募金額は、1 口 100 円など目安が定められるケースもありますが、あくまでも自発的な参加のため特に金額に決まりがないことが多いです。また、各都道府県単位での活動なので現在では羽根だけでなく、ご当地キャラクターや野球チームのバッジやステッカーが貰えることもあります。そして募金箱だけではなく、銀行振り込みやクレジットカード払い、寄付付きグッズでの募金もできるようになっています。

ちなみに、色付きの羽根は一つ一つ手作業で作られていて、一説によると一つあたりの原価は 2.6 円といわれています。仮に 1 円の募金となりますと赤字の計算にはなりますが、困っている誰かの助けになりたい、自分が生活している環境に対して感謝の意を持って美化に努めたいという慈愛の心が吹き込まれているため、例え 1 円であってもそれ以上の価値に思えますね。自分の言動によって周りが笑顔になればこちらまで嬉しくなるように、誰かにとって、そして自分自身に幸せが訪れるような、気持ちの良いお金の使い方をしたいものです。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。